

梅の里



わかる授業



5年生では体育「フラッグフットボール」の公開授業を行いました。作戦を立てること、その作戦を試してみること、見返すこと、これらの学習に iPad を使います。うまくいかなかったときにこそ、ICT 機器を使うことによって解決のヒントを見つけやすくなります。もちろん体育の授業ですから、考えるだけでなく、たつぷりと体を動かすことも大事にします。チームで「ゴールへの通過道を作り出す」という目標に向かって取り組

むことで、運動の楽しさがわかったり、友だちと取り組む良さがわかったりすることができました。

3年生では、「伝えたいことを自分の言葉で書く楽しさ」を実感してほしいという願いで、国語の作文の授業を行いました。

宮田の商店街を自分たちで取材しました。それぞれのお店の「ヒミツ」を知り、いざ作文にしようとしたときに、どんな言葉を使えば良いのか、文の構成はどうするのか、という点で「書けない！」となってしまう子が多いです。タブレットを使って取材してきたことを整理したり、基本の文型の中にメモを当てはめてみたりということを通して、「伝えたいことが書けた！」(わかった)という授業になりました。ここでも友だちと一緒に学習することで、大人よりも？的確なアドバイスをする姿、お互いを認め合う姿がたくさん見られました。



校長先生に発表を聞いてもらう1年生



スクールタクトで学習する5年生

1人1台のタブレット型PCが配置され、多くの学年で活用されています。特にスクールタクトという、お互いの学習状況を参考にしたり、やり取りができるソフトを使って、より学習を深めていく授業が増えてきました。

もちろんこういった授業もどんどん取り入れていくのですが、本校で大切にしているのは、「学びがつながる」という部分

です。

1年生が校長室にやってきて1人ずつ「わたしはがっこうがすきです。りゅうはともだちとたくさんあそべるからです」といった内容を伝えに来ました。自分だけでわかったつもりになっていても、相手に伝えることによってさらに理解が深まったり、次に生かしていこうという気持ちが育まれます。今後とも、「わかる授業」を目指していきたいと思

令和3年度 運動会 ～限界突破 宮小の心を1つに～



雨天のため月曜日開催になり、ご迷惑をおかけしました。温かい拍手をたくさんいただき、練習の成果をみていただくこともでき、お家の方々には感謝感謝です。
宮小の心が一つになった運動会を開催することができました。本当にありがとうございました。

温かい言葉でつまれる学校



「一緒に組体操を創りあげてくれて**ありがとう**」

6年生と5年生が運動会の翌日に集合しました。6年生だけが組体操を実施する学校もありますが、本校は連学年ですと行ってきています。

5年生が6年生の姿を間近で見ると、その「おもい」を受け取り、6年生は自分たちだけでなく、これからのことも考え「おもい」を伝える…そんな「学び」を大切にしてきました。

言葉で伝えることは簡単なようで難しいことです。5年生は6年生からの「厳しさ」「伝統」だけでなく「温かさ」も受け取ったはずで

聖火ランナーとして走った唐木はなさんが学校に来て、どんな気持ちで走ったのか、どんな気持ちでオリンピックやパラリンピックを迎えるのか、ということをお話してくださいました。5年生はこの会の中で全員がトーチを持たせていただきました。

「がんばって走ったんだというぬくもりを感じた」

「オリンピックが遠くなくなった気がした」

そんな気持ちを受け取っただけでなく、はなさんを支える家族の温かさを感じた子も多かったと思います。5年生からの「**ありがとうございました**」には、自分たちも頑張るよという温かいメッセージが込められていたようでした。



4年3組は「人権の花」の活動を行っています。花を通して優しい気持ちを他の人にも伝えていくものです。休み時間や昼休みにも花の世話をしている子どもたち。花が大きくなると、地域の医療機関、福祉施設にもプレゼントし、大変喜んでいただきました。先日の参観日には、販売もさせていただきました。もちろん子どもたちの優しい気持ちが地域にも広がっているのは本当に嬉しいことです。ところで、花の世話をしている時の子どもたちの会話に耳を傾けてみると…、「……」「……」あまり会話をしていないのですが…

- ・草取りをした雑草がたまっていくと、近くの子がさっとバケツを持ってくる。
- ・水やりを始めると、どこからともなくジョウロをいくつも持ってきて、みんなが作業できるようにする。
- ・昼休みに寂しく？草取りをしている教頭のところにやってきて「何か手伝うことありますか？」と声をかけてくる。
- ・ふと気づくと、となりで一緒に作業をしてくれている。

いつしか4年3組の子たちが作業をしている近くで掃除をするのが楽しみになっていました。「言葉」はないかもしれませんが、温かい気持ちが何往復もキャッチボールされています。そんな中にあることがとても心地良いです。



1年生と2年生の教室は1階です。休憩時間になると、多くの子が廊下の窓から顔を出して外の様子を見えています。(2階3階は危ないので×です)まるで親鳥を待つヒナの様です。来校者が来ると「こんにちは！」「何しに来たの？」「ねえねえ…」とニコニコ顔で話しかける子がとても多いです。

代表委員会が企画したハイタッチ挨拶では、手袋をした高学年の子たちにまわりついて楽しそうにしている子たち。学校中で一番笑顔で挨拶ができて(かもしれない)1.2年生のパワーに圧倒されそうです。こういった挨拶も温かい言葉のキャッチボールですね。

一学期終業式 校長先生のお話より

一学期の始業式には、「こだまでしょうか」という詩を紹介して、「温かい言葉でつつまれる学級・学校、そしていっぱい友だちをつくりましょう。」という話をしました。

一学期を終えてどうでしたか？ 私は、友だちをつくることができたなと思っています。

さて、この一学期にいろいろな方々から、たくさんのお誉めの言葉をいただきました。そのいくつかを紹介します。

- 1 「明るい挨拶をしてくれるので気持ちがいいです。横断歩道で止まって挨拶をしてくれました。1日気持ちがよかったです。」と地域の方から言われました。
- 2 「高学年の皆さんが下級生の面倒をよくみてくれるんですよ。」とある低学年のお母さんから言われました。
- 3 「そうじに取り組む姿勢がいいですね」と学校に来られたお客様から言われました。
- 4 「とてもきちんとしていて気持ちのよい小学生ですね」と臨海学習でお世話になった旅館の方から言われました。
- 5 「運動会是一緒懸命に取り組んでいて感動しました。全校の皆さんに拍手です」と、保護者の方から言われました。

まだまだあるのですが、私が思い出ただけでも、こんなにたくさんのお褒めの言葉をいただきました。私は、宮田小学校のことを誉めてもらうと、とてもうれしい気持ちになります。特に、児童の皆さんのことを誉めてもらうのが1番うれしいです。私は、誉めていただくたびに、皆さんのことを誇りに感じます。さすが、宮田小学校の子どもだなと思います。

これからも「**私たちは宮田小学校の子どもだという誇り**」をもって生活していってほしいと思います。

さて、いよいよ明日から8月19日(木)まで夏休みになります。担任の先生からは休み中の注意があったかと思いますが、校長先生からは夏休みをむかえるにあたって、3つのお願いをします。

- 1つ目は「**起きる時間と寝る時間を決めて、規則正しい生活をしてください**」
- 2つ目は「**家族の人のために、最低一つは毎日お手伝いをしてください**」
- 3つ目は「**交通事故・水の事故・火の事故に注意してください**」

また元気な顔で8月20日に会いましょう。

新型コロナウイルス感染防止について

- ・大都市では、今後さらに感染力の強い変異株が流行し、夏休みを契機として地方にも広がっていくことが予想されます。二学期からも子どもたちが安心して学校に通うことができるように、大都市圏への往来はできるだけしない、今まで通りの感染防止対策を継続することをお願いします。
- ・夏休み中においても、健康チェックカードの記入を続けてください。**始業式には8月分を提出**します。7月分は31日まで記入していただき、ご家庭で8/10までは保管をお願いします。
- ・「①ご家族が濃厚接触者であると保健所から言われた」「②本人が濃厚接触者であると保健所から言われた」「③ご家族および本人が感染した(検査で陽性だった)」場合は、学校または学校携帯、それでもつながらない場合は教育委員会85-2314へ**必ず一報**をお願いします。

また、新型コロナウイルス以外にも、救急車を要請した場合、交通事故(程度に関係なく)、万引き等の問題行動があった場合は、上記の連絡先へ必ず連絡をお願いします。